



# パテニューガン

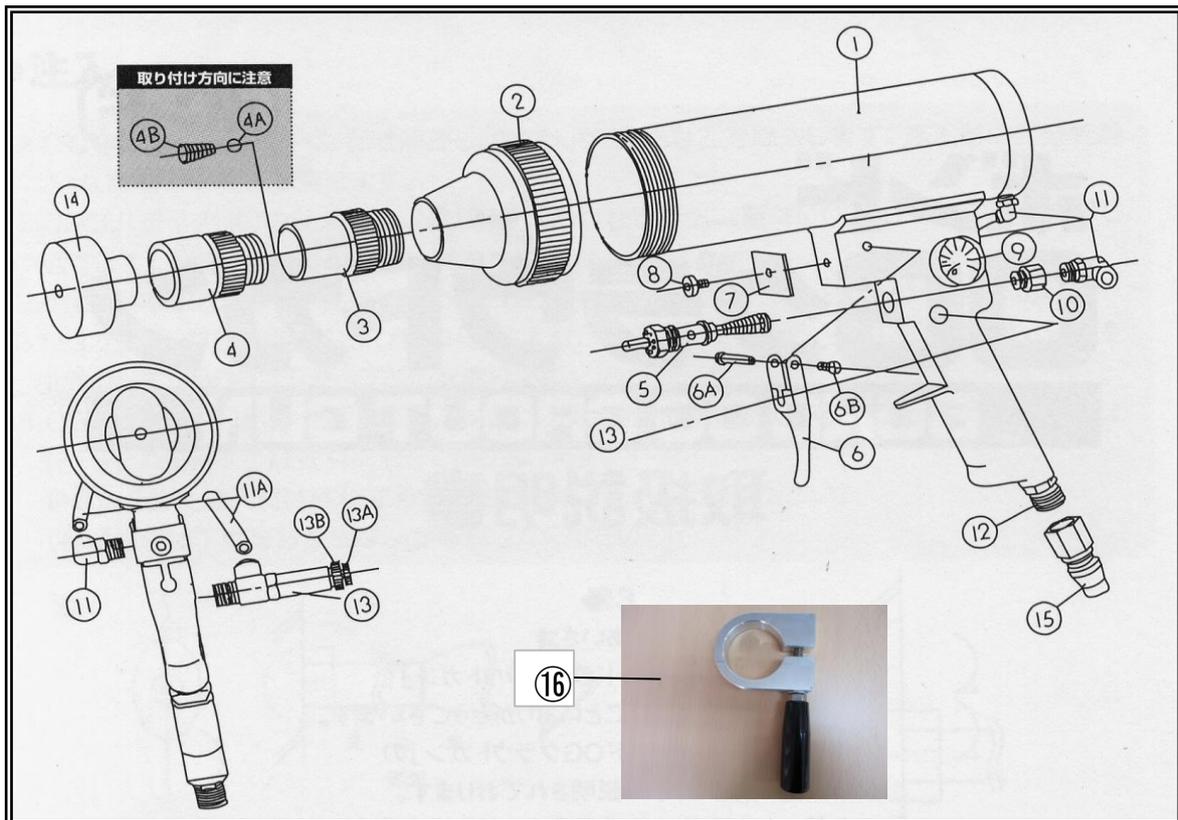
## 取扱説明書

パテニューガンの特長	1
パテニューガンの構造	1
梱包内容	1
使い方	2
準備	2
注入	2
カートリッジの取換	2
作業後の片付け	2
用途	3
取扱の注意	3

## パテニューガンの特長

- 作業の速さ ヘラを使わずエア圧力でパテを注入していくので手早く確実な作業が出来ます。
- 肉やせ 木材上部だけでなく中まで注入させることで肉やせが少なく確実にパテ埋めが出来ます。
- 色あわせ パテの色が節の色に合わせて調色済みですので自然な仕上がりです。  
<杉節用・桧節用>
- 無溶剤 水性タイプなので硬化前なら水で落とせます。
- 安全性 溶剤を使っていないので室内環境規制をクリアしています。

## パテニューガンの構造



1	ガンボディ本体
2	ガンヘッド(黒)
3	ノズルジョイント(白)
4	ノズル(黒)
4A	テフロン球弁
4B	球弁スプリング
5	空気弁セット (空気弁ボディ・空気弁ステム P30リング・ガスケット 空気弁スプリング)
6	引金
6A	引金ピン
6B	ピンビス

7	引金調節板
8	調節板固定ネジ
9	圧力計
10	プラグ
11	チューブジョイント
11A	エアチューブ
12	1/4空気ニップル
13	エアレギュレーター
13A	空気圧調節ネジ
14	ゴムチップ
15	ワンタッチカブラー
16	サイドハンドル

## 梱包内容

- ガン本体  
ノズルジョイント(白)  
ノズル(黒)及び  
各部品取り付け済み
- 付属部品(プラスチック入)  
テフロン球弁 10個  
球弁スプリング 10個  
ゴムチップ 5個

⑩サイドハンドル装着時

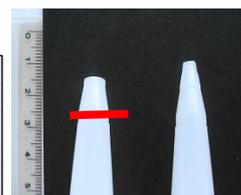


## 使い方

カートリッジの先端部分

### ◆準備

- 1.「カートリッジ」のノズルをドライバーなどでカートリッジの口の部分のアルミ防湿膜を突き破り、大きく広げた後セットしたノズルををとりつけます



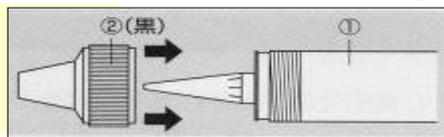
左：3段目の段差でCUT

右：悪い例 浅い

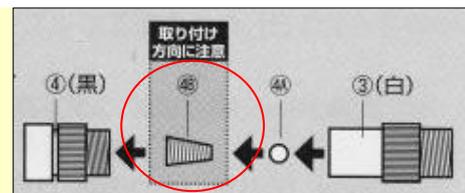
**\*重要**

2

(カートリッジがガンボディ本体内で動かない程度まで確実に装着しなければ、正確なパテ注入ができない場合があります。)

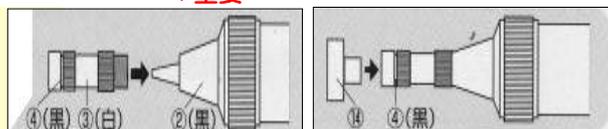


- 3.ノズル(黒)【4】内に球弁スプリング4B】テフロン球弁4A)を順番に押し込み、ノズルジョイント(白)【3】を確実に装着します。これらの部分が鼻ダレ防止となるためスプリング【4B】の向きを反対にしたりスプリング【4B】とテフロン球弁【4A】を逆に入れたりしないよう注意します。



**\*重要**

- 4.鼻ダレ防止弁付きノズル【3.4】をガンヘッドに装着します。



- 5.ノズル(黒)【4】の先端に、ゴムチップ【14】装着します

### ◆注入

- 1.ゴムチップ【14】の注入口を、生き節のひび割れの中心に合わせるように、躯体にゴムチップ【14】を押し当てます。(十分に押し当てないと周辺から漏れることがあります)
  - 2.引金【6】を引き、パテ注入を行います。(ひび割れとゴムチップ【14】の注入口が合っていないとパテが入らないことがあります。)
  - 3.ゴムチップ【14】端部のひび割れに、パテがはみ出してきたら、引金【6】をもどし、注入を止め、躯体からゴムチップ【14】を離します。
- はみ出したパテは硬化する前に水に濡らした布でふき取って下さい。

### ◆カートリッジの取替

- 1.ガン の先端を下げて、ガンヘッド【2】とノズルジョイント(白)【3】の間をはずします。
- 2.ガンヘッド【2】をガンボディ本体【1】からはずし、内部のカートリッジを取り除きます。  
\*ノズルを人に向けしないで下さい。  
以降は前述準備工に準じます。

### ◆作業後の片付け

- 1.コンプレッサーの圧力を閉じます。
- 2.ワンタッチカップラー【15】からコンプレッサーのホースをはずします。
- 3.ガンの先端を下げて、ガンヘッド【2】とノズルジョイント(白)【3】の間ではずします。
- 4.ノズルジョイント(白)【3】、ノズル【4】及びゴムチップ【14】を水で洗浄します。  
ノズル【4】内部にあるテフロン球弁【4A】及びテフロン球弁【4B】も、紛失しないように注意して洗浄します。
- 5.ガンヘッド【2】をボディ本体【1】からはずし、内部のカートリッジを取り除きます。  
ガンボディ本体に【1】並びにガンヘッド【2】にパテがついている場合、それらも水で洗浄します

### ◆エアー漏れ時には

- 1.写真のようなシールテープをまいて下さい



## 用途

### ●乾燥による生節のびび割れ補修

- \* 金属など非多孔質同士の間隙注入には不適です。
- \* 塗料の種類によって密着性の悪いもの、表面がベタつくことや変色することがありますのであらかじめ確認の上、ご使用下さい。

## 取扱の注意

- ①パテニューガン(ボディ本体)は硬質プラスチック樹脂製の為、落下により破損する恐れがありますので、取扱には充分ご注意下さい。
- ②作業時に圧力をかけすぎると樹脂が飛び散るおそれがあります。また、破損の原因となりますので、適圧な圧力で作業して下さい。
- ③コンプレッサーにつないだまま保管すると不測の圧力がかかることがありますので、必ず作業後は取り外して下さい。
- ④当社指定外の注入材をセットしてご使用になられると故障や破損の原因となります。
- ⑤ノズルの先端を人にむけないでください。
- ⑥引き金のもどりが遅い場合はスピンドル油等で各部給油して下さい。

お問い合わせ先

 井上フシック

〒919-1511

福井県三方上中郡若狭町三生野13-33

TEL 0770-64-1775

FAX 0770-64-1776

メール <http://www.fushik.jp/>

[HPアドレス order@fushik.jp](mailto:order@fushik.jp)